

市民参加に関係する新しい事業や取組

(令和3年12月18日から令和4年3月22日までに広報発表されたもの)

広報発表日	概要	所属
12月20日	The Future of KYOTO AWARDの創設及び賛同企業の募集について 京都市では、これまで「学まちコラボ事業（大学地域連携創造・支援事業）」をはじめ、京都の大学・学生の力を、地域の活性化や地域課題・地域企業課題の解決にいかすとともに、学生の学ぶ機会を創出する取組を実施しております。 また、SDGs の理念のもと、地域課題の解決や若者等の学びと成長、地域社会の活性化などを進めることを目的とした連携協定を地元金融機関（京都銀行、京都信用金庫、京都中央信用金庫）及び日本たばこ産業と結び、連携・協働に取り組んでいるところです。 こうした状況を踏まえ、この度、学生が地域や企業を知り、京都と関わりを持つことで、学生の市内への定着、京都の未来の担い手育成へつなげることを目的として、学生が主体となり、地域の課題解決に取り組む「The Future of KYOTO AWARD」を創設します。 ついては、下記のとおり、一緒に学生の成長を応援していただける企業を募集しますので、お知らせします。 1 The Future of KYOTO AWARD の創設の発表について (1) 日時 令和3年12月23日（木）午後1時～午後1時45分 (2) 会場 京都市役所 本庁舎4階 正庁の間 2 The Future of KYOTO AWARD について (1) 概要 本取組は、学生自らが地域の社会課題を見つけ、解決策の検討・提案、実践までを行います。提案採択に当たっては、審査・表彰（「The Future of KYOTO AWARD」表彰式の開催）を行うとともに、実践の際には、賛同企業から助言等の御協力をいただき、学生の成長を一緒に応援いただきます。 (2) 賛同団体 京都市、株式会社京都銀行、京都信用金庫、京都中央信用金庫、日本たばこ産業株式会社京都支店 （令和3年12月20日現在） 3 賛同企業の募集について (1) 御協力をお願いする内容 取組を推進するための資金面での御協力や提案審査、また、学生への助言等の御協力をお願いします。 ○ 実行委員会への参画 本事業の推進に対する御提言や御支援 ○ 事業協賛 資金面での御協力（社名等を冠した賞の創設） ○ 提案審査 審査会に参加し、学生の提案に対する審査・助言 ○ 受賞者の取組支援 取組への助言等の伴走支援 (2) 募集方法 御関心を持っていたいた企業には、「4 お問合せ先」まで御連絡をいただきます。 4 お問合せ先 The Future of KYOTO AWARD 準備事務局（株式会社関広内 担当：山本、吉田） TEL:075-212-5221 URL: https://www.kyoto-award.com	総合企画局 総合政策室 大学政策担当

広報発表日	概要	所属
12月24日	「京都市ぼうさいパーク」の開設 ～京都市防災ポータルサイトの充実～ 京都市の防災危機管理に係る情報を一元的に御覧いただける「京都市防災ポータルサイト」（令和3年3月29日公開）に、京都市域の防災を担う団体の活動を紹介したページ（京都市ぼうさいパーク）を追加しますのでお知らせします。 「京都市ぼうさいパーク」は、京都市内の防災を担う京都市防災会議（49団体で構成）に所属する団体が連携して災害に備え、対応する様子を手軽に御覧いただくことにより、訓練や会議だけでなく、1年を通じて防災意識の向上を図っていきます。 1 公開ページ 京都市 ぼうさいパーク https://www.bousai.city.kyoto.lg.jp/bousai_park/ ※京都市防災ポータルサイトからもアクセスしていただけます。 2 公開開始日 令和3年12月24日（金） 3 ページの特徴 (1) ブース展示に見立てたレイアウト、スマートフォンでの閲覧にも対応した親しみやすい画面構成 (2) ロゴをクリックすることにより、各団体の取組みを紹介したページを表示（防災関連ページにリンク） 4 参加機関一覧（順不同） 《京都市防災会議構成機関》10機関 ※参加機関は、随時追加を予定しています。 京都地方気象台、京都府警察本部、日本赤十字社京都府支部、関西電力送配電株式会社京都支社 大阪ガスネットワークカンパニー 京滋導管部、京都市災害ボランティアセンター、京都府助産師会 京都市消防団、NTT西日本、京都市（環境政策局・保健福祉局・子ども若者はぐくみ局・消防局・上下水道局）	行財政局 防災危機管理室
1月6日	京都市と京都生活協同組合との「『エシカル消費』普及促進に係る連携協定」の締結について 京都市では、人や社会、環境、地域に配慮した消費行動である「エシカル消費」の普及促進を消費生活基本計画の重点取組に位置付け、京都生活協同組合と消費者教育やエシカル消費の普及促進など様々な分野において連携・協働を進めてまいりました。 この度、本市と京都生活協同組合は、相互の関係を一層強化し、SDGsの理念の下、エシカル消費の更なる普及促進を図り、消費者市民社会の実現を目指すための連携協定を締結いたします。 つきましては、下記のとおり、協定締結式を執り行いますので、お知らせします。 1 日時 令和4年1月12日（水） 午前11時～午前11時30分 2 協定の内容 (1) エシカル消費の理念等の市民への浸透に関すること (2) 消費者市民社会の実現に向けた消費者教育の推進 (3) モノの生産に必要な最小限の資源が循環利用される暮らしや事業活動等、持続可能な循環型社会の実現に向けた取組の推進 (4) 生物多様性の保全に向けた支援 (5) その他SDGs（持続可能な開発目標）の達成に寄与する取組として、両者が協議し合意した事項	文化市民局 くらし安全推進部 消費生活総合センター

広報発表日	概要	所属													
1月14日	未来のために今できることを考える，きっかけが生まれる日を作る U35-KYOTO出前授業の開催について 京都市では，令和3（2021）年度から「はばたけ未来へ！京プラン2025（京都市基本計画）」（以下，「京プラン2025」という。）に基づき，都市経営を進めています。 この度，京都橘高等学校において，京プラン2025に基づく具体的な取組を実践する「U35-KYOTO」のメンバーであり，京都で活躍する事業家等10名が同校1年生429名に対して，「16歳の私に，今何を伝えるか」をテーマとした授業を実施します。 当日は，生徒が自身の生き方と持続可能な社会の実現との関わりについて考えを深めながら，事業家等と共に「SDGs未来都市」である京都のまちを創る視点を大切にしました内容とします。 1 実施日時 令和4年1月18日（火）午後1時30分～午後3時20分 2 場 所 京都橘高等学校フェスティバルホール，各教室（〒612-8026 京都市伏見区桃山町伊賀50）	総合企画局 市長公室 政策企画調整担当													
1月25日	ユースシンポジウム2022の開催について ～「18歳，だから？」～ 京都市では，青少年に関する問題を幅広く議論し，青少年への支援活動を促進することを目的に，毎年度「ユースシンポジウム」を開催しています。 令和4年4月の改正民法施行に伴い，同年4月1日から成年年齢が20歳から18歳に引き下げられることとなります。成年年齢の引き下げによって何が変わり何が変わらないのかなどを様々な視点で考えみんなで語り合いながら理解を深める場として，下記のとおり「ユースシンポジウム 2022」を開催しますので，お知らせします。 1 日 時 令和4年3月6日（日） 午後0時30分～午後5時（正午～受付開始） 2 会 場 感染拡大防止のため会場を3箇所に分けて開催し，各会場をオンラインでつなぎます。 <table><tr><td>中央青少年活動センター</td><td>中京区東洞院通六角下る御射山町262</td><td>ウイングス京都3階</td><td>50名</td></tr><tr><td>北青少年活動センター</td><td>北区紫野西御所田町56</td><td>北区総合庁舎西庁舎3階</td><td>25名</td></tr><tr><td>伏見青少年活動センター</td><td>伏見区鷹匠町39-2</td><td>伏見区総合庁舎4階</td><td>25名</td></tr></table> 3 内 容 (1) オープニング・全体会（午後0時30分～午後2時20分） テーマ：「だから，宮本先生に聞いてみよう！」 ゲスト：宮本みち子 氏（千葉大学・放送大学 名誉教授） (2) 分科会（午後2時20分～午後4時30分） 上記(1)終了後，北・伏見の2つのセンターで分科会を開催します。興味のあるテーマの会場へお越しください。 ①だから，自分たちで成人式を考えてみた 北青少年活動センター ②だから，いろんな国のいろんな人に話を聞いてみた 伏見青少年活動センター ※ 中央青少年活動センターでは分科会は開催しませんが，宮本先生と一緒に分科会の様子をオンラインで御覧いただけます。 (3) クロージング（午後4時30分～午後5時） 各分科会の内容を共有します。 4 定 員 100名（各会場の合計・先着順） 5 対 象 市内に在住又は通勤，通学されている方 6 参加費 無料	中央青少年活動センター	中京区東洞院通六角下る御射山町262	ウイングス京都3階	50名	北青少年活動センター	北区紫野西御所田町56	北区総合庁舎西庁舎3階	25名	伏見青少年活動センター	伏見区鷹匠町39-2	伏見区総合庁舎4階	25名	子ども若者はぐくみ局 子ども若者未来部 育成推進課	公益財団法人 京都市ユースサービス協会
中央青少年活動センター	中京区東洞院通六角下る御射山町262	ウイングス京都3階	50名												
北青少年活動センター	北区紫野西御所田町56	北区総合庁舎西庁舎3階	25名												
伏見青少年活動センター	伏見区鷹匠町39-2	伏見区総合庁舎4階	25名												

広報発表日	概要	所属
1月25日	「京都市地域コミュニティ活性化ビジョン」の策定について 京都市では、京都の誇るべき「地域力」を守り育てるため、平成24年から京都市地域コミュニティ活性化推進条例及び同計画に基づき、地域コミュニティサポートセンターの設置や地域活動助成、各種啓発などによって、地域住民が主体となって進める活動を支援してきました。一方、住民のライフスタイルや地域の実情等、様々な社会状況を背景に、地域住民同士のつながりの希薄化、地域団体の担い手不足等は、引き続き大きな課題となっています。 誰もが「地域の一員」として、相互に多様な在り方を認め合い、つながり、支え合い、安心して快適に過ごせる地域づくりを進めていくとともに、それぞれの地域の実情・ニーズに応じて、地域団体、市民活動団体、地域企業、大学等の様々な主体が連携・協働して、地域コミュニティの活性化を推進していくため、この度「京都市地域コミュニティ活性化ビジョン」を策定しましたので、お知らせいたします。 1 京都市地域コミュニティ活性化ビジョンの概要 以下の3つの基本指針の下に、5つの推進項目を掲げ、令和7年度までの取組を進めます。 【基本指針1】一人一人の多様性を踏まえた誰もが参加しやすい地域づくり ・推進項目1 住民同士のつながりづくり ・推進項目2 地域活動への住民の参加促進 【基本指針2】多様な地域の特性に即した地域活動の推進 ・推進項目3 地域団体による地域課題の把握・解決 ・推進項目4 地域団体の持続可能な運営支援 【基本指針3】多様な主体の連携・協働の促進 ・推進項目5 市民活動団体等と地域団体との連携 【ホームページURL】 https://www.city.kyoto.lg.jp/bunshi/page/0000293625.html (参考) 市民意見募集の結果 1 募集期間 令和3年8月26日(木)～令和3年9月27日(月) 2 御意見数 意見者数：112人、意見総数：145件 3 結果の詳細 本市ホームページに掲載しています。 【ホームページURL】 https://www.city.kyoto.lg.jp/templates/pubcomment/bunshi/0000288036.html	文化市民局 地域自治推進室 地域づくり推進担当
1月26日	京都市消防団公式Instagramの運用開始について この度、消防団充実強化実行チームによる企画・運営事業の一環として、幅広い世代で利用されているソーシャルメディアを活用し、様々な消防団の活動について写真や動画を効果的に用いた情報発信を行うため、新たにInstagramの運用を開始しますのでお知らせします。 【発信内容】 (1) 消防団活動の画像や動画 (2) 消防団に係るイベントの情報 (3) その他消防団に関する情報 【運営者・投稿者】 消防団充実強化実行チーム 消防団100人委員会U-35で出された意見を事業化するため、平成26年度に有志の消防団員により結成されたチーム。チーム結成以後、「広報」「交流」「教育」を主要テーマとして、様々なプロジェクトを企画立案し実現に取り組んでいます。	京都市消防局 総務課

広報発表日	概要	所属
1月27日	公民連携・課題解決推進事業「KYOTO CITY OPEN LABO」 ～ものの「所有」から「共有」へライフスタイルの転換を目指す～ 家具・家電のサブスクリプションサービスの利用促進について 持続可能な循環型社会の実現に向けては、2R（リデュース（ごみの発生抑制）, リユース（再使用））を推進していくことが重要です。 京都市では、各部署の行政課題に対し、民間企業等と一緒に実証実験等により課題解決を図っていく公民連携・課題解決推進事業「KYOTO CITY OPEN LABO」を開設しており、この度、本事業の取組として、ものの「所有」から「共有」へとライフスタイルの転換を目指す「家具・家電のサブスクリプションサービスの利用促進」を株式会社クラスと連携して開始しますので、お知らせします。 本事業により、家具・家電の共有を促進し、必要性や耐用年数に応じた適切な期間使用することで、ごみ減量だけでなく、二酸化炭素排出量の削減へとつなげていきます。 1 取組内容 (1) 市民向けサービス 株式会社クラスが実施する家具・家電のサブスクリプションサービス「CLAS（クラス）」において京都市にお住まいの方を対象に初月の利用価格につき、通常価格から50%割引を行います。 (2) 対象サービス ベッド、机、テレビ、電子レンジ等 約1,200の家具・家電製品の一定期間貸出し 2 開始日 令和4年2月1日（火） 3 連携企業 (1) 株式会社クラス (2) 三井住友トラスト・パナソニックファイナンス株式会社	環境政策局 循環型社会推進部 資源循環推進課 総合企画局 総合政策室
1月31日	オンラインワークショップの実施及び参加者募集について 北区役所では、区基本計画に基づき“つながり”の力で進めるまちづくりに取り組んでいます。この度、地域活動に関わりを持ちづらかった若年層の方を含む幅広い層の区民の皆さまの交流を主な目的として「オンラインワークショップ」を実施しますので、お知らせします。 この事業は、区基本計画のリーディングプロジェクトに掲げる「北区まちづくりプラットフォーム」の第一弾として実施するもので、同プラットフォームのうち「学び合う／SALON」に位置付けるものです。 1 オンラインワークショップの趣旨等について まちづくり活動に取り組む人同士の交流を通じて、普段は別々に活動する個人・団体間の連携のきっかけ作りを図ります。また、まちづくり活動に関心はあるが、まだ実践できていない人にも御参加いただき、既にまちづくり活動に取り組む人から提供される話題等を通じて、活動のきっかけを得ていただくことを目指します。 2 参加者募集について (1) 日時 令和4年3月22日（火） 午後6時30分～8時30分 (2) 実施方法 オンライン会議ツールZoom（ズーム）による開催 (3) 対象者 北区でのまちづくり活動に興味・関心のある方 (4) 費用 無料（通信費は各自で御負担ください。） (5) 定員 50名程度（応募多数の場合は抽選とします。）	北区役所 地域力推進室 企画担当

広報発表日	概要	所属
2月1日	伏見区誕生90周年記念連携企画「小学生向け環境・エネルギー教室」 伏見区は令和3年度に誕生90周年を迎え、地域企業や大学等と連携し、多彩な伏見の魅力を発見できる企画を実施しています。 この度、伏見区役所と京都市立京都工学院高等学校との連携により、未来を担う子どもたちに科学に興味を持ってもらう機会として、下記のとおりワークショップを開催いたしますので、お知らせします。 1 開催趣旨 京都工学院高等学校では、「豊かな人間性、確かな技術を身に付け、京都から社会の発展と人類の幸福に貢献できる生徒の育成」を教育目標に、多分野で活躍できるエンジニア育成に努めています。また、同校のサイエンスクラブでは、学校の授業カリキュラムに加えて、部活動として科学研究を進め、それを研究発表の場として小学生へ伝える講座等も開催しています。 今回このワークショップを通じて、高校生の研究促進及び活躍の場づくり、また、次世代を担う子どもたちへの科学的興味の喚起の機会とします。 2 開催概要 ■パン酵母の発電実験 パン酵母を用いた燃料電池の説明と発電実験 ■お絵かき太陽電池ワークショップ 植物色素を用いたオリジナル太陽電池の作成 3 実施日 令和4年3月28日（月）午後2時～午後4時（午後1時30分受付開始） 4 会場 伏見区役所1階 ホール 5 対象 伏見区内に在住の小学生4～6年生（保護者同伴） 6 定員 20名（多数抽選） ※当選者のみ連絡 7 参加費 無料	伏見区役所 地域力推進室 企画担当 京都市立 京都工学院高等 学校
広報発表日	概要	所属
3月18日	山科商店会 新ビジョン発表&キックオフ事業 JR山科駅前クリーンアップ運動の開始について 京都市では、商店街にコーディネーターを派遣し、地域・団体・商店街等の連携による誘客促進に向けた持続可能な取組を支援することで、商店街を核とするエリアのブランド化を目指す「商店街地域資源活用事業」を実施しています。 この度、本事業の一環として、山科商店会における新ビジョンを決定しました。また、“京都の東の玄関口”として商いを通じた様々な取組を展開していくにあたり、その第一弾となる「JR山科駅前クリーンアップ運動」を開始しますので、お知らせします。 JR山科駅を重要な地域資源と捉え、継続的な清掃活動により山科を訪れる方々をおもてなしするとともに、山科商店会が中心となって地域の連携を深め、山科全体の活性化を目指すものです。 ○新ビジョンについて 「～あきないとおもてなしの商店街～ 京都の東の玄関口 山科商店会」 ○JR山科駅前クリーンアップ運動について 第1回 令和4年3月22日（火）午前9時30分～10時30分（予定）	産業観光局 地域企業イノ ベーション推進 室